



## 市政研究会 森 義明 議員

### 1 市長の三期目の出馬について

**質問1(1)** この2期8年間の川岸市政を検証すると、特に厳しい財政事情のなか堅実で着実な行財政経営だったと感じてはいるが、多くの課題も残している。2期8年間でどのような考えで市政運営し、その結果はどうであったか。

**答弁1(1)** まず、本市のあるべき姿を追求するため、議会を始め、市民の皆さんとの対話と信頼を政治姿勢の基本に据えて市政の采配を行ってきた。そして、有権者の提言や市民の声をもとに、第5次鈴鹿市総合計画を市民参画による手法で策定した。具体的な事業とし

ては、真っ先に安全・安心の事業に取り組み、河川整備や排水ポンプ施設整備などの雨水対策、建築物の耐震化推進に力を注ぎ、耐震化は県下でもトップクラスの水準に達した。2期目には、経済不況に見舞われ、本市の財政にも大きな影響があったが、就任以来、堅実な財政運営を行ってきたことから、大きな行政サービスの低下を招かず、着実に様々な事業を遂行してきた。

**質問1(2)** 2期目までの総括と反省に立ち、3期目の出馬はどうするのか伺いたい。

**答弁1(2)** まだまだやり残したことは多いが一定の成果を挙げることができたと自負している。2期8年という年月は一つの区切りの時期と感じており、今期で引退させていただきたい。



## 政友会 今井 俊郎 議員

### 1 火災での消火活動と被災者救済

- (1) 消火栓について
- (2) 被災者救済の考え方は

### 2 修学旅行について

- (1) 修学旅行の目的は
- (2) 行き先はどのようにきめるのか

**質問1(1)** 住宅が増え生活地域が広がっているが、消火栓の設置基準の見直し等を行っているのか。

**答弁1(1)** 住宅が増え水道管を新しく埋設する際に国の基準に沿って設置している。

**質問1(2)** 被災者救済について市は多くの制度があるが本当に救済になっているのか。

**答弁1(2)** 被災状況に応じて固定資産税や市民税他市税の減免制度、災害見舞金等を送る条例もある。災害見舞金については近隣市の状況等勘案して前向きに検討する。今後も地区市民センターや関係部署と連携していきたい。

**質問2** 中学校の修学旅行は全校ディズニーランドに行っているが、他の場所など行き先の検討はどのように行っているのか。

**答弁2** 修学旅行は校外における集団活動を通じて集団の決まりや社会生活上のルール、公衆道徳など学習指導要領の目標を達成できるよう、各学校で決めている。今後も修学旅行の意義や目的、経費、安全面や見学先の受入れ態勢など、総合的に判断をして決めていきたい。



## 日本共産党 森川ヤスエ 議員

### 1 子どもの医療費の無料化について

- (1) 年齢の引き上げ
- (2) 窓口無料化を
- (3) 所得制限をはずすこと

### 2 奨学金制度の拡充を求める

- (1) 現状について
- (2) 内容の拡充を求める

**質問1(1)** 生活圏を一にする亀山市が中学校卒業まで医療費を無料にし、県下でも無料化が広がり、鈴鹿市の子育て支援の弱さが際立ってきている。いつも後手になっているのではないかと。鈴鹿市も義務教育の間は医療費を無料にするよう求める。

**答弁1(1)** 県内で平準化を図るよう、県の助成対象

年齢の拡大を申し入れているところである。

**質問1(2)** 本人に返金する医療費ならば窓口負担を課すよりも窓口無料の現物給付制にするよう求める。

**答弁1(2)** 県内、全市町で構成する検討会で対象年齢拡大と現物給付等を検討しているところである。

**質問1(3)** 所得制限をはずすべきではないか。

**答弁1(3)** 高額所得者の方のみが対象外である。

**質問2** わが国の高等教育機関は学費が異常に高い。親の経済的格差の中で勉強する機会が奪われることの無いよう、大学生の場合はせめて学費くらい、一定の基準の成績があれば多くのお子さんに学ぶ機会を与えられるよう市の奨学金制度の改善を求める。

**答弁2** 各種の奨学金制度があることから、一般会計からの補てんについては考えていない。